



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月8日

上場会社名 株式会社三洋堂ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3058 URL <http://www.sanyodohd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者兼最高執行役員 (氏名) 加藤 和裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画室長

(氏名) 伊藤 勇 TEL 052-871-3434

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,103	△3.1	178	48.2	200	54.6	123	49.9
29年3月期第3四半期	16,626	△3.9	120	△63.7	129	△60.8	82	△66.1

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期

144百万円 (86.6%)

29年3月期第3四半期

77百万円 (△68.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	21.06	21.06
29年3月期第3四半期	14.05	14.05

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	16,109	3,496	21.7
29年3月期	15,488	3,354	21.6

(参考) 自己資本

30年3月期第3四半期

3,496百万円

29年3月期

3,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	4.00	ー	0.00	4.00
30年3月期	ー	0.00	ー		
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△5.1	300	16.1	300	9.2	50	△26.7	8.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	6,000,000株	29年3月期	6,000,000株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	116,606株	29年3月期	117,606株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	5,882,994株	29年3月期3Q	5,882,094株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策による企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあるものの、中東や北朝鮮情勢等の地政学的リスクの懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。一方、政府による働き方改革により、健康で豊かな生活のための時間の確保が推奨されるとともに、長時間労働の是正等が進みつつあります。

当社グループを取り巻く事業環境は、動画や音楽配信、スマートフォン等による時間消費の多様化の影響を受けて雑誌やレンタルの市場縮小が続く一方、楽しさや学び、健康等を大切にするライフスタイルの定着により、新たな市場が広がりをみせています。

このような経営環境のもと、当社グループは「本とのであいのおてつだい」をコンセプトに、新刊書籍・雑誌を核として文具・雑貨・古本等を強化するとともに、カルチャースクール、パソコン教室、児童英会話教室等による学びの場や、イベントなど楽しさを体感できる場など、リアル店舗ならではの価値を提供する「ブックバラエティストア」の展開を進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、4月に神奈川県初進出となる「富士通オープンカレッジ三洋堂東戸塚校」(神奈川県横浜市)と「富士通オープンカレッジ三洋堂藤沢プラザ校」(神奈川県藤沢市)を2校同時開校し、11月にルビットタウン中津川店(岐阜県中津川市)を開店いたしました。一方で、阪南店を閉店したことから、第3四半期末の店舗数は85店舗となりました。

また、8月に当社最大規模の文具売場となる「文具館」をたじみ店(岐阜県多治見市)に、10月に城山店(愛知県尾張旭市)に4つの個性的な雑貨・ライフスタイルショップからなる「ZAKKA FACTORY」を、11月に志段味店2階(愛知県名古屋市)において、当社初の本格的フィットネスジムとなる「スポーツクラブアクトスWill_G(ウィルジー)三洋堂志段味」をオープンいたしました。

オペレーション面では、複数階層店舗の集中カウンター化(10店舗)や営業時間の見直し(15店舗)など、収益力強化のために、抜本的な生産性向上策を進めました。また、12月に株式会社ロイヤリティマーケティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 長谷川 剛)のポイント、「Ponta」のたまる・つかえるサービスを全店舗にて開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高161億3百万円(前年同四半期比3.1%減)、営業利益1億78百万円(同48.2%増)、経常利益2億円(同54.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1億23百万円(同49.9%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、重要性が乏しくなったことに伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「法人顧客事業」として記載していた報告セグメントについては「その他」の区分に含めております。

① 個人顧客事業

個人顧客事業の売上高は、TVゲーム部門と古本部門が健闘いたしましたが、その他の各部門で厳しい推移が続き、全体では159億7百万円(同3.3%減)となり、セグメントの営業利益は2億30百万円(同7.8%増)となりました。

個人顧客事業のうち、主要な部門の売上高前年同四半期比は、書店部門4.7%減、文具・雑貨・食品部門0.2%減、セルAV部門1.5%減、TVゲーム部門12.2%増、古本部門3.7%増、レンタル部門8.7%減となりました。

文具・雑貨・食品部門では生桑店、大田川店で定番文具売場の拡大を、古本部門では平群店に古本売場の導入をするなど、既存店の売場強化を実施いたしました。

② サービス販売事業

不動産賃貸収入、自動販売機収入、受取手数料、保険代理業収入などによるサービス販売事業の売上高は、1億94百万円(同15.0%増)となり、セグメントの営業利益は1億47百万円(同17.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は161億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億21百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金と商品の増加などにより流動資産が5億34百万円増加したこと、建物及び構築物などの取得による増加と、償却による減少等により固定資産が86百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては126億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億78百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加などにより流動負債が3億20百万円増加したこと、長期借入金の増加などから固定負債が1億58百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては34億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億42百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1億23百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,820,378	2,017,984
売掛金	92,623	126,613
商品	5,864,765	5,960,096
その他	375,032	583,006
流動資産合計	8,152,799	8,687,700
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,159,931	2,000,247
土地	2,492,129	2,580,060
その他（純額）	276,960	283,307
有形固定資産合計	4,929,021	4,863,615
無形固定資産	167,676	156,951
投資その他の資産	2,239,083	2,401,669
固定資産合計	7,335,782	7,422,236
資産合計	15,488,581	16,109,937
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,942,018	8,398,261
1年内返済予定の長期借入金	690,404	583,354
未払法人税等	70,804	7,503
賞与引当金	53,835	23,224
ポイント引当金	187,130	184,920
資産除去債務	2,790	30,930
その他	360,340	399,525
流動負債合計	9,307,323	9,627,717
固定負債		
長期借入金	1,838,170	1,995,392
退職給付に係る負債	301,377	312,407
資産除去債務	626,847	610,397
その他	60,733	67,499
固定負債合計	2,827,128	2,985,696
負債合計	12,134,451	12,613,414

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,290,000	1,290,000
資本剰余金	1,025,117	1,025,396
利益剰余金	1,052,792	1,176,693
自己株式	△101,382	△100,520
株主資本合計	3,266,527	3,391,569
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	73,399	95,807
退職給付に係る調整累計額	10,863	8,992
その他の包括利益累計額合計	84,263	104,799
新株予約権	3,213	—
非支配株主持分	126	154
純資産合計	3,354,129	3,496,523
負債純資産合計	15,488,581	16,109,937

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	16,626,631	16,103,407
売上原価	11,775,386	11,335,466
売上総利益	4,851,245	4,767,940
販売費及び一般管理費	4,730,987	4,589,679
営業利益	120,257	178,261
営業外収益		
受取利息	2,870	2,538
受取配当金	4,031	5,017
受取保険金	2,892	4,490
協賛金収入	3,782	6,245
その他	14,824	17,794
営業外収益合計	28,401	36,087
営業外費用		
支払利息	18,319	13,313
その他	608	445
営業外費用合計	18,928	13,759
経常利益	129,730	200,589
特別利益		
新株予約権戻入益	3,706	3,024
特別利益合計	3,706	3,024
特別損失		
固定資産除却損	1,371	13
減損損失	—	14,773
特別損失合計	1,371	14,787
税金等調整前四半期純利益	132,065	188,826
法人税、住民税及び事業税	72,172	61,207
法人税等調整額	△22,780	3,689
法人税等合計	49,392	64,896
四半期純利益	82,672	123,929
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	27
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,659	123,901

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	82,672	123,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,820	22,407
退職給付に係る調整額	△1,448	△1,871
その他の包括利益合計	△5,268	20,536
四半期包括利益	77,404	144,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,391	144,437
非支配株主に係る四半期包括利益	12	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。